

私たちが未来を変える！すべての労働者の
「底上げ」「底支え」「格差是正」と働き方の見直しで！



2020春季生活闘争ニュース

2020.3.6 第4号 発行責任者 連合北海道組織労働局

檄 2020春季生活闘争勝利！

「分配構造の転換につながり得る賃上げ」、「すべての労働者の立場にたった働き方」、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分」をめざす2020春季生活闘争は、3月9日から13日の第1先行組合の回答ゾーンを目前にして、大きなヤマ場を迎える。

道内の経済概況は「緩やかに拡大している」としているが、米中貿易摩擦による海外経済の減速や、第4次産業革命などによる産業構造の変化、消費税増税、膨らみ続ける社会保障費、新型コロナウイルスの感染拡大、労働力不足など、経済・社会の持続性確保に向けた不透明感が漂っている。

私たちがめざす「経済的自律成長」「社会の持続性」を実現していくためには、企業規模や雇用形態、労働組合の有無を問わず、すべての働く者の働き方の価値に見合った処遇が担保される社会の構築、個人消費による内需の拡大とすべての労働者の将来不安払拭に向けた「人への投資」、すなわち分配構造の転換につながり得る賃上げが重要である。

そのためには、健全な労使関係の輪を隔々にまで広げるとともに、「取引の適正化」の重要性をあらゆる機会を捉えて、社会全体に訴えていかなければならない。

一方、2020年は「働き方改革関連法」が本格的な施行を迎える。「時間外労働の上限規制」の中小企業への適用、「同一労働同一賃金」への対応はもちろんのこと、有期・短時間・契約等で働く者の雇用の安定など、公務・民間、企業規模、雇用形態にかかわらず、個々のニーズにあった多様な働き方の仕組みを整え、安心・安全で働きがいのある職場の構築が必要である。

連合北海道が結成されてから30年が経過した。わたしたちは、先達が積み上げてきた春季生活闘争の流れを継承しつつ、将来基盤を築いていくためにも、組織内だけでなく、すべての働く者の処遇改善につながる「クラシノソコアゲ！みんなの春闘」に果敢に挑戦していく。

社会全体の希望と安心を取り戻し、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け、「私たちが未来を変える！すべての労働者の『底上げ』『底支え』『格差是正』と働き方の見直しで！」を合言葉に、産別・単組、地協・地区連合、一人ひとりの勤労道民の悩みや苦しみ、想いを力に最後の最後まで粘り強く闘い抜き、必ずや勝利をつかみ取ろう！

2020年3月6日

連合北海道2020春季生活闘争本部
本部長 杉山 元

本日の「3.6全道総決起集会」は開催中止

本日(3/6)、札幌市民ホール「カナモトホール」で開催予定の標記集会は、新型コロナウイルスの感染拡大のリスクや参加者の安全確保のため中止いたします。

お手数をおかけしますが、参加を予定されていた方々への連絡・周知徹底を遺漏なきようお願いいたします。